事務事業評価票[市単独補助金] 令和 4 年度

												3	旦当記	禾			,	農林	誄		
++	補且	助 金(:	事 業)	名	地址	或農業	活性化	比支援₹	事業補助金							整理	理番	号		1408	8
基本事	根 拠 法 令 等				島原市農林水産業振興事業補助金交付要綱 地域農業活性化支援事業費補助金交付要綱							実施を義務付ける規定 ○ あり ⑥ 7					●な	:b			
事項			市勢振興		標		賑わいと			•	予科	· 算 · 目	6	款	1	項 3	目	●継	続	○新	規
	計画の基本計画			施策 施策3-1 自然の恵みを供給するま				まち	▼ 区 3					励・助成				▼			
	補助金交付の 対象(団体名等)				新規就農者及び認定農業				(者で組織する団体)						実施	始期	平	成	25	年	F度から
	对》	家(団)	体名 🔻	争)											期間	終期	令	和		年	F度まで
事	事業	*の背景	景及びれ	既	本市	におい	で農業に	は基幹剤	毛業の一つで で	あり、農業扱	長興地域区	内では	国、	県等	の 补	前助事	業を	活用	し、月	農業の	の振興
業	女(坑仏、味趣)、よ				本市において農業は基幹産業の一つであり、農業振興地域内では国、県等の補助事業を活用し、農業の振興を図っているが、農業振興地域外においては、国の補助事業では対象外となり、県の補助事業についても事業採択を受ける事が困難であり、この地域における農業の振興は、本市の課題の一つである。また、近年のICT技術等の活用は、農業分野においても重要な技術の一つであるが、現行の国、県の制度は高度なICT技術等の利活用が要件となっており、ICT技術等に不慣れな農業者が国、県の制度を活用することは、困難であることから、ICT技術等への初歩的な支援を行うことは、本市の課題の一つである。																
耒																					
の	0.2				150 7	ДШ С 0.3	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,, 5, 1	-12XIII (1	000 HV 0000	22 (11)			1 - 114	- 1010	, C		(0)			
Jor	目	指す	- _Б С	里																	
概					農業	振興地	域外に	おいて、	担い手の規	莫拡大や農作	F業の効	率化•	省力	化を	進る	りると	とも	に、	本市の	の農	業分野
要		付対象団 な状態(におい	SいてもICT技術等の導入を支援し、農業経営の安定と地域農業の活性化を図る。															
等				ĺ																	
守	補且	助金交鱼	付内容	等	補助	率:3	0%以内	J	削以上を占める 豊作業の効率化												
	〈積	算 基	. 礎 等	F)	補助 ③近年	率:3 需要が:	0 %以内 増加して] [いる農業	♥IF来の効平1									, († √) 5	テノくで	上 义16	z
	_				補助	率:5	0 %以内]													
																_	-				
	区分	,	年度			30 年			31 年度		2 年度				3 年				4 年		
事	区分補助	力金交付		_		30 年実 終			31 年度 実 績 43	3	€ 績	91			3 年		2			F度 算額	950
業		力金交付	才額 (千)	円)		実 絹	į		実 績	3	€ 績				毛 耛	Ę	+				950
業費	補助 ① ②	力金交付 団体領	才額 (千)	円)		実 絹	923		実 績 43	3 4	ミ 積	37			毛 耛	62	2				950
業費等	補助 ① ② 歳入	力金交付 団体領 (千円	す額(千F 等事業習 う) 費	円) 費 等		実 絹	923 3, 077		実績 43	3 4	長 績 7 2,6	37			毛 耛	62 1, 562	2				950
業費等の	補 ① ②歳入内訳 (団体 (千円 会 前 年 月 本	対額(千F等事業引) 費 度繰越	円) 費 金 金		実 絹	923 3, 077		実績 43	3 4 1	月 2,6 1,8	37			毛 耛	62 1, 562	2				950
業費等の推	補助 ① ②歳入内	加金交付 団体 ⁴ (千円 会 前年 5 たの他	す額(千F 等事業引) 費 度繰越 う 助	門) 費等金 金		実 絹	923 3, 077 2, 154		実 績 43 1,444 1,01	3 4 1	月 2,6 1,8	37 46			毛 耛	62 1, 562 940	2				
業費等の	補 ① ②歳入内訳(千円)	加金交付 団体学 会 前 年 月 そ の 代 次年度終	す額(千F等事業費引)費 乗越 動 しの助成 也雑収 や 乗越金	門) 費等金 金		実 絹	923 3, 077 2, 154		実 績 43 1,44 1,01 43	3 4 1	月 2,6 1,8	37 46			毛 耛	62 1, 562 940	2				
業費等の推	補① ②歳入内訳(千円)	加金交付 団体年 会 前年 市 補 その他 その付 次年度8	寸額(千F等事業費) 費 要 繰 越 す 助 助成 収 雑 金 (1)	(PT) 等 金 金		実 彩	923 3, 077 2, 154 923		実 績 43 1,44 1,01 43	3 4 1 1 3 3	積72,61,87	37 46 91 0	bh	**************************************		62 940 622	22	載)(予算	算額	950
業費等の推	補① ②歳入内訳(千円)	加金交付 団体年 会 前年 市 補 その他 その付 次年度8	寸額(千F等事業費) 費 要 繰 越 す 助 助成 収 雑 金 (1)	(PT) 等 金 金	体等0	実 彩	923 3, 077 2, 154 923		実 績 43 1,44 1,01 43	3 4 1 1 3 3	積72,61,87	37 46 91 0	bh	実 るもな		62 940 622	22	載)(予算	算額	950 —— 円)
業費等の推移	補助①②歳入内訳(千円) 3	加金交付 団体 ⁴ 会 前 年 月 そ の 代 次年度 ² 年度 (2)	す額(千F等手) 費 度 繰 越 しの 助 成 収 地線金 の 当 該 で (far	等金金金	体等の 「「チゴ」	実 彩 つ事 業 目 用)	923 3, 077 2, 154 923 0	主な内	実 積 43 1,44 1,01 43 記(市補助	3 4 1 1 3 3	積72,61,87れている	37 46 91 0	bh	実 るもな	アか	62 940 622	22	載)(予算	算額	950 —— 円)
業費等の推移	補助①②歳入内訳(千円) 3	加金交付 団体(千円 会 前 年 月 そ の 代 次年度(2) 年度(2) 年度(3) 年度(4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	す額(千F等手) 費 度 繰 越 しの 助 成 収 地線金 の 当 該 で (far	等金金金	体等の 「「チゴ」	実 彩 つ事 業 目 用)	923 3, 077 2, 154 923 0	主な内	実 積 43 1,44 1,01 43 (市補助 金 額	3 4 1 1 3 3	積72,61,87れている	37 46 91 0	bh	実 るもな	アか	62 940 622	22	載)(予算	算額	950 —— 円)
* 費 等 の 推 移	補助①②歳入内訳(千円) 3 用 用を	加金交付 団体(千円 会 前 年 月 その イ その 作(②) - (②) - (②) - (②) - (③) - (○)	す額(千F等引)費 乗 越 助 成 収 を か り 当 該 費 (far 特 様 接 対) は 対 で は は 対 で は か で で は か で で で で で で で で で で で で で	等 金 金 公 金 公 金 公 金 公 金 公 金 二 入 一	体等の (イチゴ) 証を取っ	実 刹 D事業 目 用)	923 3,077 2,154 923 0 費の ための系	主な内	実 積 43 1,44 1,01 43 訳(市補助 金 額 237	3 4 1 1 3 3	積72,61,87れている	37 46 91 0	bh	実 るもな	アか	62 940 622	22	載)(予算	算額	950 —— 円)
* 費 等 の 推 移	補り ②歳入内訳(千円) 3 機ドで扱いに扱いて扱いに対して扱いに対して扱いに対して扱いに対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対	加金交付 団体(千円 会 前 年 月 その イ その 作(②) - (②) - (②) - (②) - (③) - (○)	す額(千F等引)費 乗 越 助 成 収 を か り 当 該 費 (far 特 様 接 対) は 対 で は は 対 で は か で で は か で で で で で で で で で で で で で	等 金 金 公 金 公 金 公 金 公 金 公 金 二 入 一	体等の (イチゴ) 証を取っ	実 刹 D事業 目 用)	923 3,077 2,154 923 0 費の ための系	主な内	実績 43 1,44 1,01 43 家(市補助金額 237 231	3 4 1 1 3 3	積72,61,87れている	37 46 91 0	bh	実 るもな	アか	62 940 622	22	載)(予算	算額	950 —— 円)
* 費 等 の 推 移	補り ②歳入内訳(千円) 3 機ドで扱いに扱いて扱いに対して扱いに対して扱いに対して扱いに対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対	加金交付 団体(千円 会 前 年 月 その イ その 作(②) - (②) - (②) - (②) - (③) - (○)	す額(千F等引)費 乗 越 助 成 収 を か り 当 該 費 (far 特 様 接 対) は 対 で は は 対 で は か で で は か で で で で で で で で で で で で で	等 金 金 公 金 公 金 公 金 公 金 公 金 二 入 一	体等の (イチゴ) 証を取っ	実 刹 D事業 目 用)	923 3,077 2,154 923 0 費の ための系	主な内	実績 43 1,44 1,01 43 家(市補助金額 237 231	3 4 1 1 3 3	積72,61,87れている	37 46 91 0	bh	実 るもな	アか	62 940 622	22	載)(予算	算額	950 —— 円)
* 費 等 の 推 移	補り ②歳入内訳(千円) 3 機ドで扱いに扱いて扱いに対して扱いに対して扱いに対して扱いに対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対	加金交付 団体(千円 会 前 年 月 その イ その 作(②) - (②) - (②) - (②) - (③) - (○)	す額(千F等引)費 乗 越 助 成 収 を か り 当 該 費 (far 特 様 接 対) は 対 で は は 対 で は か で で は か で で で で で で で で で で で で で	等 金 金 公 金 公 金 公 金 公 金 公 金 二 入 一	体等の (イチゴ) 証を取っ	実 刹 D事業 目 用)	923 3,077 2,154 923 0 費の ための系	主な内	実績 43 1,44 1,01 43 家(市補助金額 237 231	3 4 1 1 3 3	積72,61,87れている	37 46 91 0	bh	実 るもな	アか	62 940 622	22	載)(予算	算額	950 —— 円)
* 費 等 の 推 移	補 ① ②歳入内訳 (千円) 用 用を 用	か金交付	す額(千F等引)費 乗 越 助 成 収 を か り 当 該 費 (far 特 様 接 対) は 対 で は は 対 で は か で で は か で で で で で で で で で で で で で	等 金 金 公 金 公 金 公 金 公 金 公 金 二 入 一	体等の (イチゴ) 証を取っ	実 刹 D事業 目 用)	923 3,077 2,154 923 0 費の ための系	主な内	実績 43 1,44 1,01 43 家(市補助金額 237 231	3 4 1 1 3 3	積72,61,87れている	37 46 91 0	bh	実 るもな	アか	62 940 622	22	載)(予算	算額	950 —— 円)

◎1次評価(自己評価)

〇視点別分析									
視点	現 状 分 析	説明							
①助成事業の効果	意図した効果があがっているある程度効果がある。あまり効果がない分析できない事業効果は後年度	令和3年度に関しては、スマート農業技術のとりかかりとなる農業用機器の 導入の支援を行っており、今後、地域への波及が期待される							
②市の関与の必要性	● 必要性は薄れていない ● 少し薄れている 薄れている 一 不明 ● 該当しない	本市農業の振興をさらに図るため、今後も市の関与が必要である。							
③ 団 体 の 事 業 内 容 や 助成の在り方等の見直し 必要性	● 見直しの必要はない ○ 検討の余地はある ○ 見直しの必要あり	交付要領で事業の採択要件や補助率を定めており、見直しの必要性はないと 考えられない。							
〇総合評価と今後の方	向性								
総合評価	 A 継続(特段の B 見直しのうえ) B1 事業規模 B3 事業内容 C 休止(隔年写) D 廃止(終期の 	Rで実施 の拡大							
	理 とが必要である。 由	新規就農者や担い手農家の経営安定、地域農業の活性化を図るため継続して事業に取り組んでいくことが必要である。							
今後の課題と見直しの 方向性(総合評価判定が B1~B4の場合)	題りた。								
1, ,		▼ 農業振興に寄与している。今後も先進技術の普及により本市農業の競争力							
◎3次評価									
備考		•							
評価 □補助額の削減 □補助額 備 者		次年度予算への反映状況 (☑) 廃止 ☑ 現状維持 → 予算措置額の増減 0 千円							